そこが知りたい多治見砂防国道 http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/

| 解　禁　指　定　な　し |
| --- |
| 平 成 28 年 5 月 30 日 |

国土交通省中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

# 土岐川流域グリーンベルト「学習会」
## ～笠原中学校～
「笠原の森、グリーンベルト、土砂流出のしくみを知ろう」

# 記　者　発　表　資　料

１．概　　要

多治見砂防国道事務所では、山を強くし土砂災害を防止するため地域住民や中学校等と連携し「土岐川流域グリーンベルト事業」として樹林整備を進めるとともに樹林整備を通じた防災環境教育を実施しています。今回は「土岐川流域グリーンベルト事業」の一環として笠原中学校の中学生を対象に「学習会」を実施します。

２．内　　容

【開催日】　平成２８年６月３日（金）
【会　場】　笠原中学校
【対象生徒】　笠原中学校　１年生９０人（３クラス）
【内　容】　①講義「笠原の森、グリーンベルトについて知ろう」
②土砂流出実験「土砂流出のしくみを知ろう」
③砂防ダム実験「砂防ダムの効果について知ろう」
④降雨体験「雨の強さを体験しよう」

３．資　　料　　別　紙

添付資料　２　枚

| 配　　布　　先 |
| --- |
| 多治見市政記者クラブ、日刊建設工業新聞、日刊工業新聞社、建通新聞社、建設通信新聞社 |

| 問　い　合　わ　せ　先 | | |
| --- | --- | --- |
| 多治見砂防国道事務所　副所長 | 後藤（ごとう）　明（あきら） | TEL 0572-25-8024　FAX 0572-25-1038 |
| 多治見砂防国道事務所 砂防調査課長 | 有澤（ありさわ）　俊治（としはる） | |

*Tajimi Office of Sabo and National Highway*

別紙

# 平成28年度土岐川流域グリーンベルト　樹林整備活動（笠原中学校）

※今年度予定している活動内容です。

| 活動日<br>2016年（平成28年） | 中学校 | 活動内容・場所 | | |
|---|---|---|---|---|
| 平成28年6月3日<br>（金）<br>13:30～15:30 | 笠原中学校 | 学習会 | 中学校<br>体育館 | ■森についての学習<br>・講義<br>・実験（模型実験、土砂流出実験、降雨体験） |
| 未定<br>H28．11－H29．1頃 | 笠原中学校 | 観察会 | 笠原の森 | ■笠原の森の観察<br>・森の散策、砂防ダムの見学<br>・植物、土の観察 |
| 未定<br>H28．11－H29．1頃 | 笠原中学校 | 樹林整備 | 笠原の森 | ■樹林整備（予定）<br>・常緑低木の間伐<br>・歩道整備等 |

今回実施

## 昨年度の「学習会」の様子

防災のはなしでは、樹林地が荒廃していた笠原町の歴史や樹林整備の必要性を学びました。

森がないと土砂が流れ出してしまいました。森って大切ですね。

砂防堰堤によって、土石流の被害を食い止めることができました。

雨の威力を知りました。時間降水量100mmを超えると息苦しくなかった？

# 土岐川グリーンベルト　～森づくりを通じた防災・環境教育～

## 中学校における樹林整備活動の具体的な取り組み内容について

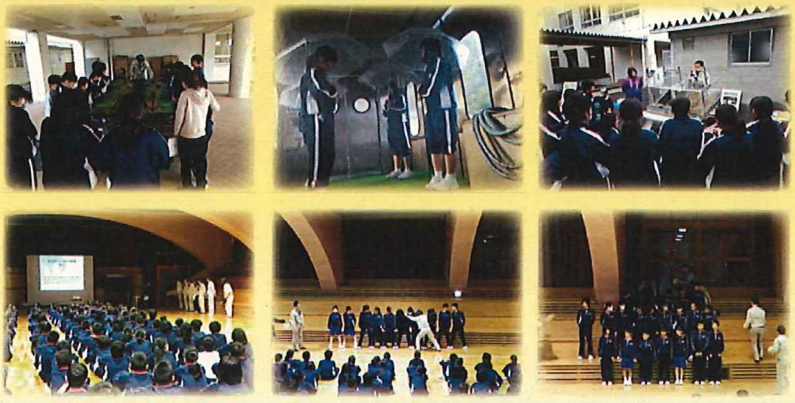
### ～　学習会　～　森の働きと砂防の役目を学ぶ

**学習会の目的**

- 土砂災害と砂防を知る
- 森林のはたらきを知る
- グリーンベルト活動を知る

**実施内容**

- 砂防技術者や森林の専門家が講師となって、土岐川流域での砂防事業の歴史や森林整備と土砂災害の関係について講義をしています。
- 木の生えるものと木の生えていない模型を使った降雨実験や土石流に対する砂防堰堤の防災効果を示す実験を実施し、森林と砂防施設の防災効果を学習します。
- 降雨体験車を派遣して、時間降雨 100 ㎜以上の集中豪雨の状況を体験します。



### ～　観察会　～　実際に森の中に入って、森を観る

**観察会の目的**

- 森を知る、観る、感じる

**実施内容**

- 森に入ることが初めての生徒がほとんどであるため、森全体が見られるよう、森を 1 周して、これまでの活動成果を観察します。
- 移植ゴテで穴を使って、土壌の色が変わったり、少し硬くなる部分まで掘り、林内の腐植土の厚さを定規で計測します。また、腐植土の働きを学びます。
- 林内に生育する樹種について、葉、幹、実など見分けるポイントを整理した資料を参考にして、生徒自身が木の名前を調べます。

### ～　樹林整備　～　みんなと協働で土砂災害に強い森をつくる

**樹林整備の目的**

- 多様な効果が期待できる樹林へ誘導するための整備を行う

**実施内容**

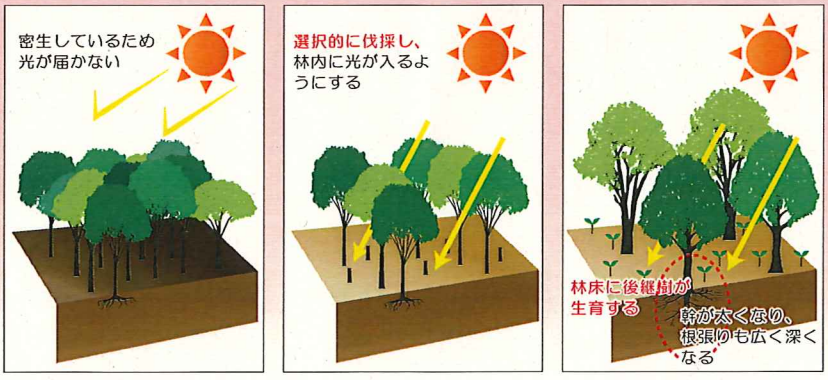
- 林内の光環境を改善するため、主に常緑樹の株立ちをしているものを対象として、切る木を選定します。
- 選定した木を対象に、一人が木を支え、一人がノコギリを引いて、伐採します。その際、受け口と追い口を入れて切り倒します
- 切り倒した木は、1mずつに細かく切り（玉切り）、林内に整理します。
- 伐採後の明るくなった状況を照度計を使って、計測して、樹林整備の効果を確認します。

**樹林整備の効果**

- 樹木が密生することによって、枝葉に太陽の光が十分に届かないため、1 本 1 本の樹木は細くて根茎も貧弱になり、防災的にも不健全な状況となります。
- このため、樹林整備活動では密生林分を対象として、適度な密度になるよう選択的に伐採を行い、保存木の生長および後継樹の生育に必要な光環境を確保することを目的として実施します。
- 密生林分や枯損の著しい林分を対象に選択的な伐採を行うことで、次の効果を期待します。

  健全な樹木の生長を促進する

  植生遷移をふまえ、後継樹種の生育を促進する




国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所